

日常の注意ポイントと知識（ご使用前に必ずお読みください）

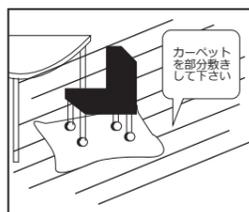
雨漏れ・水漏れ

製品の表面に耐水性に優れた塗装で保護しておりますが、長時間の雨漏れは製品のシミ、汚れの原因となりますので、速やかにふき取ってください。またキッチンや洗面台など、水をよく使用する場所には、水切りマットを敷いてください。



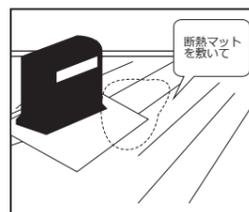
キャスター・重量物

机、テーブルやイスの脚にはゴムキャップをかぶせて、ご使用ください。ピアノなどの重量物は敷き板を介して置いてください。荷量のかかった状態でキャスター付きのイスやワゴンを動かすと大きなダメージを受けやすいので、カーベットの部分を敷きして表面を保護してご使用ください。



熱

通常の本質床材にはホットカーベットの、温風ヒーター、ストーブなどの熱が直接当たるような使い方は、目隙や表面割れを引き起こすことがありますので、避けてください。これらを使用される場合は耐熱性の高いマットを敷いて、ご使用ください。断熱マットは家電販売店でお求めください。



色違い・やけ

天然木のため一枚一枚、色柄は異なります。製品カタログなど印刷物との間に隔たりがある場合もありますので、ご了承ください。また木材は天然光線中の可視光線成分や紫外線成分を吸収して、自らも変色していきます。その結果として、光の当たった部分とそうでない部分で色が異なる状態が生じることもありますので、カーテンなどで遮るなどして、できるだけ直射日光に晒さないよう、ご配慮をお願い致します。

無垢フローリングの特性【湿度との関係性】

ムクフローリングは室内の湿度を一定に保つ事が出来るとともに、その吸放湿により一定量以上の湿度が失われたり、吸湿した場合寸法の変化が起きる場合があります。

〈例〉  
（異常な乾燥）フローリングの縮み



室内の湿度が乾燥しすぎています。空調機などの送風が直接あたらないようにして下さい。窓を開け、室内を自然の湿度状態にして下さい。

（異常な吸湿）フローリングの伸び



室内の湿度が何らかの状態が高くなっています。原因を調べて下さい。窓を開け室内を自然の湿度状態にして下さい。空調機を使い乾燥させるのも効果的です。

無垢材を使った住宅において、フローリングと湿度との関係は重要です。

カビ・ダニは、湿度 60%を超すと急激に繁殖を始めます。

また、ウィルスやバクテリアは、湿度 40%以下で活動し始めます。

健康にとって理想的な湿度は、50%～60%と言われていますが、無垢フローリングも同様です。

収縮・割れ・伸びの防止策として湿度 45%～60%以内の住環境を保つようお願い致します。

施工後 1～2 年程度は自然環境により狂いを引き起こす場合がありますが、その後は生活環境に馴染み安定して来ます。

メンテナンスについて

日常のお手入れは、化学雑巾もしくは、乾いた柔らかい布でから拭きで十分です。水を使わないようにお手入れして下さい。ワックス掛けは、木質フローリング専用の樹脂ワックスをご使用下さい。ご使用の際にはワックスをフローリングに直接流さないで下さい。雑巾やモップに含ましたワックスが落ちない程度に絞り、素早く仕上げして下さい。量が多い場合は割れ、反りが発生する場合があります。

おことわり

床材方面に小さな穴が開き、木の粉のような物が出てくる場合があります。これは木部についた、虫害と考えられます。一般的に床材は製造工程で高温処理するため虫や卵は死滅します。その後の流通段階や施工後に外部から虫が飛来して産卵し虫喰いが発生する場合があります。万一発生した場合は、専用薬剤を散布、注入するなど早期対応が必要です。専用薬剤はホームセンターなどでお求めいただけますが、処理専門業者にご相談されることをおすすめいたします。

必ずお読みください。

床材 無垢フローリング  
施工説明書

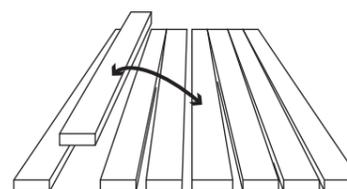
施工終了後この説明書をお施主様にお渡しください。

この度は弊社製品をご採用頂きありがとうございました。無垢フローリングは天然木の性質上、保管状況、使用環境によって、反り、割れ、狂いを引き起こす場合があります。お施主様の快適な暮らしのために、必ずこの説明書をよくお読み頂き、無垢材の特徴をよくご理解の上、施工して下さい。

1 施工前に確認

- 無垢材の性質上、膨張、収縮を防ぐために開梱した状態で必ず一週間以上放置し、十分施工現場環境に馴染ませて下さい。
- 床暖房には使用できません。
- 換気口は十分ですか。（建築基準法施工例：外壁の床壁部に、長さ 5m 以下枚に 300 cm<sup>2</sup>以上の換気口設置）  
※床下の換気が十分でない場合、施工後に「暴れ」「突き上げ」「床鳴り」が発生する恐れがあります。
- 根太工法用フローリングです。二重床工法での使用は、施工前に相談して下さい。

2 仮並べ



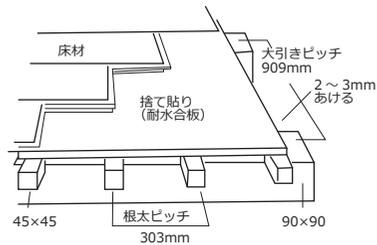
- 天然木ですので、貼り始める前に仮並べをし、色、柄のバランスをとって施工して下さい。

- 極端に色や柄がおかしいもの、その他商品に関してお気づきの点があれば、必ず貼る前にご相談ください。施工後の返品・交換には応じかねます。

3 割り付け

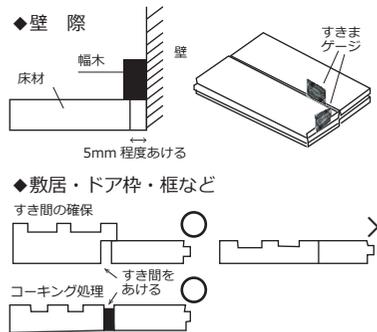
- 極端に小幅材がこないよう、貼り込み前に割り付けを行ってください。
- 下地合板のジョイント部とフローリングのジョイント部がかさならないように割り付けをして下さい。

## 4 下地施工



- 大引きは90mm角以上、根太は45mm角以上の乾燥剤を使用し、プレーナーで平滑に仕上げてください。
- 大引きは間隔は3尺、根太は1尺(303mm)とし、レベル(水平)を出して施工してください。
- 必ず合板の捨て貼りをし、合板は12mm以上の耐水合板を使用してください。又、捨て貼り合板の間は、2~3mmあけて施工してください。尚、床下の湿気が多い場合は0.1mm厚以上の防水シートを根太と捨て貼り合板の間にしき込んで施工してください。
- フローリングは根太と直交するように施工し長手方向のジョイントは根太上に来るようにして下さい。

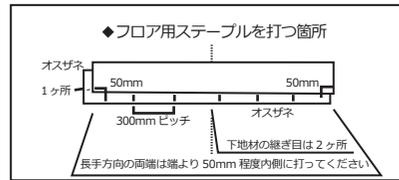
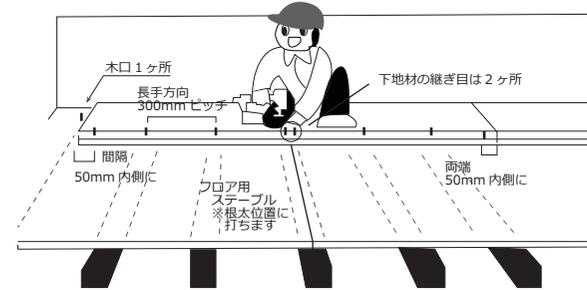
## 5 貼り込み (接着剤の塗布)



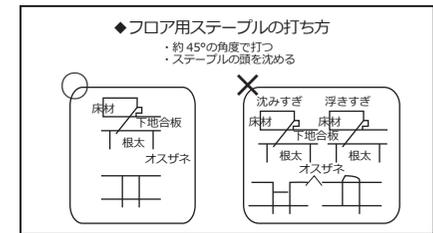
- 施工は必ず糊釘併用で行ってください。
- 貼り込みは、きつく締め付けると、無垢材の性質上、反り、突き上げの原因となります。
- 実を強く叩き込み過ぎると、無垢材の性質上、膨張時に反りが発生する場合があります。必ず同梱の名刺大「すきまゲージ」を使って、ジョイント部にクリアランスをとってください。また壁際は3~5mm程度、あけて下さい。



## 6 フロア用ステーブルで固定



- ステーブルを立てて打つと、オスザネ下部が破損し、メスザネが入りにくくなります。ステーブルをぬかすすぎると、表面にフクレがおこる場合があります。



## 7 はき出し窓部・敷居おさまり

- はき出し窓サッシへの納め、又敷居(同面)納めの場合は必ずクリアランスをとり、コーキング処理して下さい。

## 8 養生

- ①施工後はごみをきれいに取り除いて、保護用合板や養生シートで養生して下さい。
- ②壁際は、石膏ボードの粉がたまりやすく、しかも木目に入るとほとんど取れません。壁際まで隙間なく養生して下さい。
- ③無塗装品、自然オイル塗装品は特に表面破損や、変色が起こりやすいため、絶対に床養生テープをフローリングに直接貼らず、養生ボード等を使用して下さい。
- ④床養生テープをフローリングに長期間貼ったままにしていると、テープを剥がす際にフローリング表面の塗膜が剥がれたり、のりが残ったり、毛羽立ちが大きくなります。また、日光が当たる箇所は同様の問題が起こりやすくなりますので、床養生テープをフローリングに直接貼らないようにして下さい。(次頁の図を参考にしてください。)

### 当社免責事項について

- 納品時に不良品や欠陥商品があった場合は、欠陥製品の交換をさせていただきます。既に施工済みの商品については交換出来ませんので確認の上、施工願います。
- 天然木フローリングの為、使用環境によっては膨張収縮による反り、割れ、捻じれ、突き上げ、隙間等が生じる場合があります。これらのトラブルはクレームの対象にはなりません。
- 天然木の為、色調、柄等の違い、経年劣化による日焼け等はクレームの対象にはなりません。
- 上記のクレームによる補修、張替え工事等の費用の返金は行われません。但し弊社の製品が直接の原因とされる場合にはこの限りではございませんのでご相談ください。
- 無垢フローリングを施工、又は使用を決定される前にお施主様に天然無垢材の性質(長所/短所)を十分説明、理解して頂いた上でご使用して下さい。

# フローリング 養生テープの貼り方

